

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (H27-17号)

平成27年10月8日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成27年10月1、2、5日に伊勢湾、三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しましたが、その結果は下記のとおりです。

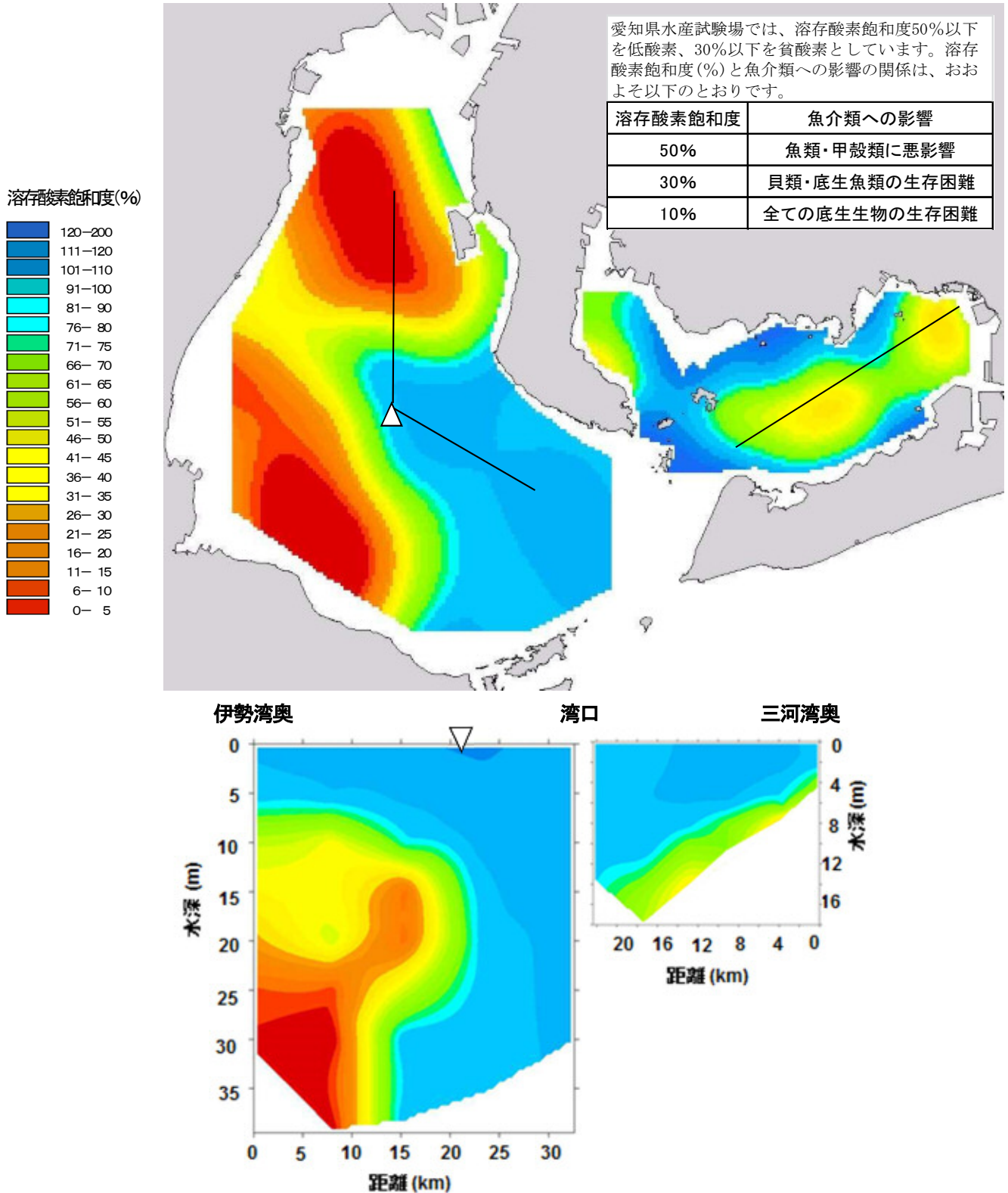


図1 伊勢湾 (10月5日)、三河湾 (10月1、2日) の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」、三重県「あさま」)

### 伊勢湾

10月5日の調査結果を図1に示しました。前回調査(9月28日)では、湾奥部から湾中央にかけて貧酸素水塊が確認されましたが、今回の調査でも、底層では湾奥部や湾中央部の西寄りで貧酸素水塊が確認されました。前回調査時と同様に外海水が湾中央部まで流入しており、鉛直分布で見ると、その海域では中層に貧酸素水塊が持ち上げられている様子が確認されました。

表底層の密度差が小さくなっており、海水が上下混合しやすい状況です。今後は、貧酸素水塊の規模は縮小傾向になると考えられます。

	水温(°C)			塩分		
表層	21.2	~	23.0	23.9	~	30.3
底層	22.2	~	23.9	30.2	~	33.8

### 三河湾

10月1、2日の調査結果を図1に示しました。前回調査(9月24日)では渥美湾奥部や知多湾の一部で貧酸素水塊が確認されましたが、今回の調査では確認されませんでした。

自動観測ブイ(1号ブイ、蒲郡市沖)のデータを見ると、9月は貧酸素水塊がみられましたが、10月1、2日の強風で貧酸素水塊が解消し、その後は確認されていません(図2)。

表底層の密度差が小さくなっており、海水が上下混合しやすい状況です。今後は貧酸素水塊の大規模な発生はないと考えられます。

	水温(°C)			塩分		
表層	22.8	~	23.6	23.5	~	30.2
底層	22.8	~	24.0	27.8	~	30.7

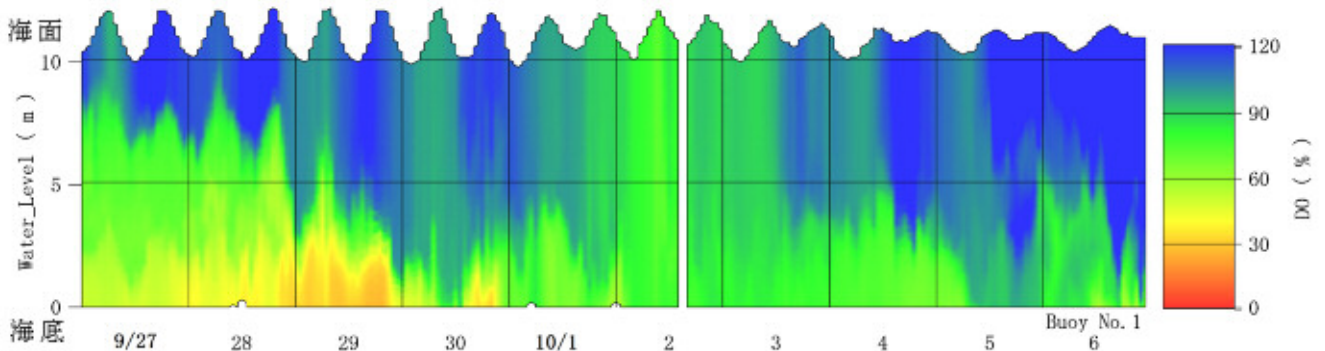


図2 溶存酸素飽和度の経時変化(9月27日~10月6日、1号ブイ)

### 参考

前回調査時の底層の溶存酸素飽和度

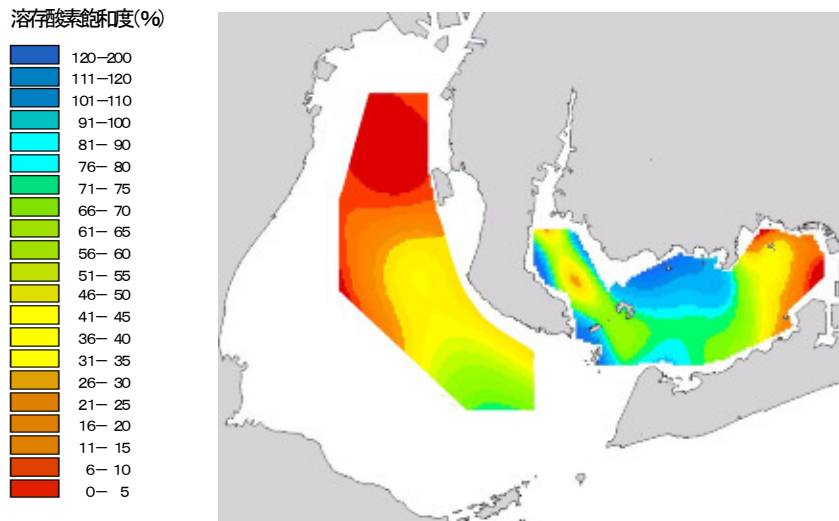


図3 平成27年9月28日(伊勢湾)、24日(三河湾)